

関ヶ原合戦の舞台は、関ヶ原だけではない!!

2022.11.22

関ヶ原の戦いは1日で勝敗が決したと言いますが、それは最後の一幕を指しているにすぎません。天下の覇権を狙う徳川家康と、それを阻止せんとする石田三成の対立は、2年前の豊臣秀吉の死去から始まっており、この間、全国の名だたる武将を巻き込み全国各地で戦いがありました。

1 関ヶ原の戦いは何故起こったのか

★大名が、石田三成方と徳川家康方の2グループに分かれた

豊臣秀吉の死後、大名間の対立が激しくなって、石田三成と徳川家康方に分かれる形になって衝突した。秀吉の傍に仕えて事実上天下を動かしてきた石田三成は、自分が秀吉の力を引き継ごうと考えた。片や、徳川家康は天下取りを目指しての動きを活発化。一方、朝鮮で苦勞して帰ってきた加藤清正たちは安全な所から命令を下していた五奉行、特に三成に反感を持ち、彼を殺そうとしました。

このようなことから大名の間では、家康グループと三成グループに分かれてグループ間の対立が顕著になります。

★石田三成が先にしかけた

三成は会津の上杉景勝と協力して、家康の本拠地である関東を東と西から挟み撃ちにしようとする。景勝に軍を動かさず。京都伏見城にいた家康は、会津を攻めるために大軍を率いて出発。家康が留守の間に三成方は伏見城を攻め落とします。これが戦いの始まりです!!

2 関ヶ原合戦の関連年表

慶長3年 1598	8月18日	豊臣秀吉山城伏見城で死去
	9月3日	徳川家康、前田利家ら、豊臣秀頼に忠誠を誓う
慶長4年 1599	正月10日	豊臣秀頼、山城伏見城から大阪城に移る
	3月3日	前田利家、大阪で病没
	3月4日	加藤清正ら7人、石田三成を襲撃、10日に三成は佐和山城に蟄居
	9月27日	徳川家康大阪城に入る
慶長5年 1600	6月18日	徳川家康伏見城から会津攻めに向かう
	7月2日	徳川家康会津攻めの途中、江戸城に入る
	7月11日	石田三成、大谷吉継を引き込み徳川家康に反旗を翻すことを決める。翌日に毛利輝元に協力を仰ぐ。17日に毛利輝元は大阪城に入り、西軍総大将となる
	7月19日	石田三成が小早川秀明、宇喜多秀家、毛利秀元らと伏見城を攻撃する
	7月21日	徳川家康江戸城を出立して陸奥会津へ向かう
	7月24日	徳川家康、石田三成の挙兵を知らされる
	7月25日	徳川家康、下野小山に諸大名を集め軍議を開き、石田三成討伐を決める
	7月26日	徳川家康、諸大名を上方に向かわせる

	8月4日	徳川家康、下野小山の陣を引き払い、江戸に向かう。5日に江戸城に入る
	8月11日	石田三成、伊藤盛正の美濃大垣城に入る 福島正則・池田輝政、清洲城に入る
	8月15日	遠山友政、河尻秀長の美濃苗木城を無血開城させる
南美濃の戦い	8月16日	徳永寿昌・市橋長勝、丸毛兼利の美濃福束城を落城させる
	8月19日	同じく、高木盛兼の美濃高須城、高木帯刀の美濃駒野城、高木正家の美濃津屋城を攻略する
岐阜城攻防戦	8月20日	福島正則、尾張清洲城で岐阜城の攻撃を決める
	8月22日	池田輝政、美濃米野で織田秀信を破る 福島正則、加賀野井重望の加賀野井城、杉浦重勝の竹ヶ鼻城を落城させる
	8月23日	福島正則・池田輝政、織田秀信の美濃岐阜城を落城させる
	8月23日	黒田長政・田中吉政・藤堂高虎、美濃合瀬川で石田三成の家臣舞兵庫を破る
杭瀬川の戦い	8月24日	東軍先鋒、美濃赤坂に集結する 毛利秀元・長曾我部盛親、伊勢安濃津城を攻撃する
	8月26日	伊勢安濃津城の富田信高、西軍への降伏を受諾し、翌日開城する
	9月1日	徳川家康、江戸城を出立し上方に向かう
	9月2日	遠藤慶隆・金森可重、稲葉貞通の美濃郡上八幡城を攻略、翌日奪還される
	9月3日	大谷吉継、越前から転進して美濃関が原に布陣する 宇喜多秀家、伊勢から転進して美濃大垣城に入る
	9月6日	徳川秀忠、真田昌幸の信濃上田城を攻撃するも落城できず
	9月7日	毛利秀元・吉川広家・長宗我部盛親・長束正家、伊勢から転進して美濃南宮山に布陣する
	9月8日	毛利元康・立花宗茂、京極高次の近江大津城を攻撃する
	9月10日	大友義統、細川忠興の豊後來つけ木付城を攻撃する
	9月11日	徳川秀忠、信濃上田城の攻略をあきらめ上方に向かう
	9月13日	上杉景勝の執政尚江兼統、最上義光の細谷城を落城させる 細川幽斉、後陽成天皇の勅命を受け、丹後田辺城を開城する 黒田如水、豊後石垣原で大友義統と戦う
	9月14日	徳川家康、美濃赤坂に着陣する 小早川秀明、美濃松尾山城に入る 石田三成の家臣島左近、美濃杭瀬川で中村一栄を破る 京極高次、近江大津城の開城を決め翌日退去する 石田三成ら西軍主力は夜陰に紛れて関が原に転進する
	9月15日	美濃関ヶ原で東西主力が激突、東軍が西軍に大勝する 上杉景勝の執政直江景勝、最上義光の出羽長谷堂城を攻撃する
	9月17日	徳川家康、石田三成の居城佐和山城を落城させる

- 9月19日 小西行長、伊吹山中で捕縛される
- 9月21日 石田三成、伊吹山中で捕縛される
- 9月24日 毛利輝元、大阪城を退去する
- 9月27日 徳川家康、大阪城に入る
- 10月1日 徳川家康、石田三成・小西行長・安国寺恵○を京の六条河原で処刑する

3 東西陣営の武将たち 別紙…1

4 慶長5年(1600)8月16日～9月15日の動き

- ① 南美濃の戦い
 - ・福島正則の命により、8月16日、17日攻撃して南美濃を制圧
- ② 岐阜城の攻防戦
 - ・8月11日美濃に進軍した石田三成は大垣城の伊藤盛正を説得して、西軍の本営とする
 - ・8月22日加賀野井城落城(水野忠重は知立で加賀野井重望に殺された)
 - ・8月23日福島正則・池田輝政の攻撃で、岐阜城は落城
- ③ 杭瀬川の戦い
 - ・8月24日東軍は赤坂に進出し家康の本営を築く。9月14日に家康着陣。
 - ・9月14日西軍主力は大垣城を出て関ヶ原に転進した……何故?
 - ・9月14日島左近らは杭瀬川を渡り、東軍を打ち破る
- ④ 決戦! 関ヶ原
 - ・9月15日午前8時ころ、東軍の井伊直政隊が西軍の宇喜多秀家隊に発砲したことにより、決戦の火ぶたが切って落とされました
 - ・午前中は一進一退の戦い、徳川家康は桃配山から本陣を前線に進めます
 - ・正午頃に小早川秀秋が東軍に寝返ると、脇坂安治らの4将も東軍についたことで西軍は総崩れとなり、東軍の大勝利に終わりました

5 両軍の動きと合戦布陣図 別紙…2

6 戦は戦わずして勝つのがベスト

- ・戦は外交と武力で……小早川の寝返りを仕掛けたり

7 家康の戦後処理

- ・豊臣方 88 家 400 万石を取り潰した
- ・褒賞は、権限のある者には石高を少なく、石高の多い者には権限を与えない。旧豊臣方だった者には大盤振る舞い、が、元々徳川方の本多忠勝は2万石の増しかなかった
- ・豊臣秀頼だけでなく、戦犯の上杉や総大将の毛利も殺さなかったのは何故か
- ・1603に征夷大將軍になっている(63歳)が、天下を取ったのは74歳大坂の陣で豊臣を倒した時